

部活サポーター説明会

日時 令和7年2月20日(木) 17:00

場所 六ツ美中部小学校 図書室

六ツ美中部小学校は、「部活サポーター」を募集します！

1 部活サポーターとは

- 部活動顧問と連携・協働し、六中小部活動ガイドラインに則って、平日や休日の可能な日に、六中小の部活動をサポートするボランティア

2 背景

- 中学校部活動の地域移行（少子化、教員の働き方改革、国の方針）
- 小学校部活動の在り方の検討【資料1】

将来的には、学校主体の部活動に代わる放課後の児童の居場所を、地域や保護者の力でつくりたい！

3 募集する部活動

ソフトボール部、バレーボール部、合唱部

4 サポートの体制や内容

- コミュニティ・スクールとしての学校支援活動体制「文化・スポーツ部会」【資料2】
- 活動時は必ず部活動顧問（教員）がおり、指導の責任は部活動顧問にある
- 部活動顧問と打合せをし、できる範囲でサポート内容を決める（例：安全の見守り、キャッチボールの相手、スパイクの球出し、伴奏、パート練習の指導、練習試合の付き添いなど）

5 部活動基本方針【資料3】

6 その他

(ア) スケジュール

- ・ 令和7年4月になってから部活動顧問が作成する部活動の練習計画を共有する
- ・ 練習日の内、対応可能な日を決めて、部活動顧問に連絡する（その他柔軟に）

(イ) 学校や部活動顧問との連絡手段

- ①学校電話、②学校配信メール【資料4】、③通学班の児童が手紙届ける

(ウ) 活動に係る補償

スポーツ安全保険（公益財団法人スポーツ安全協会）【資料5】

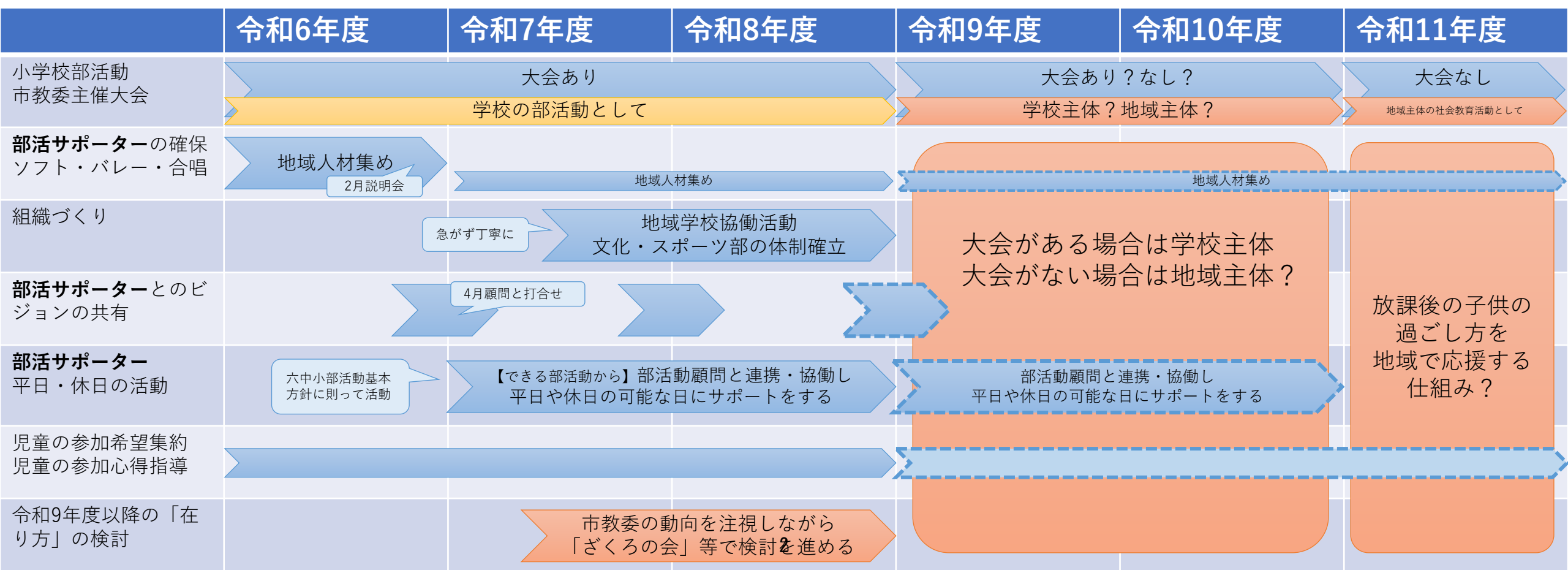
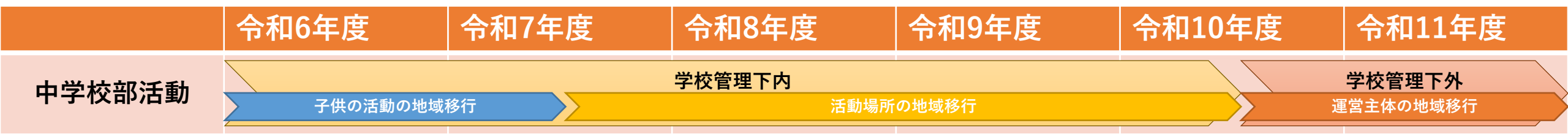
(エ) 部活サポーター登録の手続き

- ・ 所定の登録用紙【別紙】に必要事項を記入し、学校へ提出する

<これまでの議論で出た主な意見>

- ・異年齢集団で、スポーツや文化に親しみ、**主体性や創造性を育む**仕組み
- ・子供が**参加を選択**できるもの → 現在、部活動への参加は「希望制」
- ・放課後の子供の過ごし方を応援したいという**地域の方の力**を借りる

- ・まずは、**今ある部活動をベース**に、地域の方や保護者がどうかかわれるか
- ・**地域学校協働活動の文化・スポーツ部会**の活動として位置付けたい
- ・しばらくは、一定程度、**教員のかかわり**も必要





学校
(コミュニティ・スクール)



学校運営協議会

【地教行法第47条の5】

こんな教育を展開
します

教育方針を承認します



こんな子供を育てたい!

これからは、〇〇に
力を入れたらどうか

月1回「ざくろの会」開催

学校運営協議会のメンバーの他、家庭・地域・企業等の方が参加できるオープンな集まり。決定機関ではなく、意見交流の場。学校運営協議会主催。



こんなことに
困っています

〇〇なら力にな
れると思う

地域学校協働活動 (学校支援活動体制)



学習支援部会

読み聞かせ 昔の遊び 田植え
なのはなプロジェクト プール監視
総合学習等外部講師 社会見学補助
企業出前授業 等

環境整備部会

花壇の世話
草刈り
丸池清掃 等

安全部会

登下校見守り
青色パトロール 等

文化・スポーツ部会

放課後活動支援 (部活動支援)
地域行事参画促進
親ゼミ 竹馬活動 等

るるの会 明生クラブ 碧の会 JAあいちみかわ
地域包括支援センター ちゅらぼ 28会 30会
令和会 パトロール隊 登下校ボランティア
学区まつり実行委員会 等

家庭・地域

学校がこんな活動を考えています

力になります!

地域学校協働活動推進員

【社会教育法第9条の7】

現在、地域学校協働活動推進員は委嘱されていない。学校運営協議会委員がこの役割を担っている。



地域
住民

保護者

PTA

企業
NPO

スポー
ツ団体

社教
団体

令和6年度 岡崎市立六ツ美中部小学校 部活動に係る活動方針

1 本校の現状

- ・部活動を楽しみにしている児童が多く、保護者の理解を得ながら活動している。
- ・平日の最終下校時刻は、日没時刻と通学距離を考慮し決定している。
- ・部活動への参加は希望制とし、児童が主体的に参加できる場とする。

2 具体的な活動方針

(1) 部活動運営について

ア. 部活動の目標

- 学校における部活動は、スポーツや文化に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養を図る。
- 児童の主体性を育む場とする。

イ. 部活動の運営

- 学校は、適切な部活動運営を組織的に行うため、指導・運営体制を整備し、目標や視点を踏まえ、児童の実態を考慮した具体的な計画の下に実施する。
- 校長は、部活動の目標等を策定し、実態に応じた改定を図る。
- 顧問は、児童の実態や状況を考慮し、安全・安心が確保されるよう指導・支援にあたる。地域人材の活用する場合は、学校の運営方針を理解し支援にあたる方に依頼する。
- 各部においては、練習計画や練習メニューの決定など児童の主体性を伸ばす工夫をする。

ウ. 部活動の運営組織

企画委員会—部活動運営委員会（運営委員会）—顧問会議—キャプテン会議

※企画委員会・・・校長、教頭、教務、校務

※部活動運営委員会・・・企画委員、体育主任、部活動主顧問と必要に応じて顧問

(2) 活動量（休養日や活動時間等）について

ア. 平日

- ・活動日は、原則週3日以内とする。（火、水、金）の週と（水、金）の週がある。
- ・活動時間は、1時間30分以内とする。
- ・下校時間は、最も遅い時間で16時30分とする。
- ・始業前は活動しない。
- ・休養日は、原則として月・木曜日にとることとする。

イ. 休日（週休日及び祝日）

- ・日曜日は、原則「休業日」とする。
- ・土曜日の活動は第2土曜と第4土曜に限る。
※両日とも練習日、練習試合としない。
(要項のある大会、コンクール等は例外)

- ・毎月第3土曜日〈家庭の日〉は、年間を通して「休業日」とする。
※大会等で実施の場合は、代替え日を設定する。
- ・活動時間は原則3時間以内とし、長時間〔終日〕練習はしない。
※練習試合や大会への参加等により活動時間が長くなる場合には、気象状況や児童の健康状態を考慮した範囲内とする。

ウ. 長期休業中

- ・土日については、原則活動をしない。
- ・活動時間は3時間以内とし、長時間〔終日〕練習はしない。
※大会等で実施の場合は、あらかじめ校長の承認を得て実施する。

エ. その他

- ・上記以外で、特別に部活動を実施する場合は、予め校長の承認を得て実施する。
- ・顧問は、週1回以上の休みを取るようにする。

4 その他

(1) 保護者及び地域との連携

- ・保護者からの理解を得るために、部活動計画表等を作成し、必要に応じて連絡・相談の場をもつ。
- ・PTA・地域の各種団体等と連携し、部活動の在り方について研究し推進する。

(2) 安全の確保と緊急時の対応

- ・活動場所の施設、設備、道具について、定期的に点検、整備をする。
- ・熱中症、アナフィラキシーショック、落雷等急激な天候の変化、光化学スモッグ、活動場所の施設・設備・道具等、様々想定される危機管理について、「岡崎市部活動指導ガイドライン」に則り、児童の健康・安全等に留意し、事故防止に努める。
- ・事故が発生した場合には、校内作成の「緊急連絡体制」により速やかに管理職及び顧問によって医療機関等と連携をとって対応する。その後、事故原因を分析し、安全管理と指導の在り方について点検、再発防止対策を早急に講ずる。

(3) 部活動の変更、退部等への対応

- ・部活動希望制に伴い、転部や退部を希望する場合は、年度末に担任や顧問等と話し合ってから行うことを原則とする。

令和6年4月吉日

関係者各位

岡崎市立六ツ美中部小学校
校長 神谷 敦仁

学校情報メール登録について

陽春の候 皆様におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、見出しにありますように、学校の情報配信や連絡事項など、お知らせをする学校情報メールについて、御登録をお願いします。登録方法について御案内申し上げます。

◎個人情報の管理について

このメール配信サービスに必要な情報は、氏名、メールアドレスです。その他の個人情報 は不要です。また、情報はこのサービスのためだけに使用されますので、他の広告などは一切届きません。御安心ください。

◎メール登録の仕方（社教・同窓会・関係者）

手順1 受信許可設定

送信元アドレス：o-mutumichubu-es@raiden.ktaiwork.jp

「迷惑メール対策」の設定を、上記送信元アドレスから送られるメールを受信できるように設定してください。

※詳しい操作方法は、お持ちの携帯電話の説明を御覧になるか、各携帯ショップに本プリントを御持参の上、お問い合わせください。

手順2 登録の空メール送信

空メール送信先アドレス（社教・同窓会・学校関係者用）

s.o-mutumichubu-es@s.ktaiwork.jp

上記に、空メール（件名、本文不要）を送信してください。

（QRコードも御利用ください）

メールが送信できない場合、または、エラーメールを受信した場合は、アドレスが間違っている可能性があります。もう一度確認して再度空メールを送信してください。

※空メールを送信できない機種では、本文または件名に適当な1文字を入れて送信してください。



手順3 登録の空メール送信

折り返し、「メールサービス本登録のご案内」というメールが届きます。これは現在の状態が仮登録であることの通知です。メールが受信できない場合は、アドレスが間違っているか受信許可設定に誤りがある可能性があります。もう一度手順1からやり直してください。

※「なりすましメール拒否」(Softbank) 「なりすまし(高)」(au)
を設定されている場合は、上記送信元アドレスから送られるメールを受信できるように設定してください。

手順4 本登録

- (1) 「手順3」で受信したメールの末尾記載の「以下のURLから一週間以内に本登録を実施してください。」で指定されたURLにアクセスしてください。
- (2) 登録画面が表示されますので御自身のお名前を入力し、該当するグループにチェックを入れて「登録」ボタンを押してください。

手順5 本登録完了メール受信

「メールサービス登録完了」という件名のメールが届けば登録完了です。

◎テストメールを4月23日(火)にお送りします。

(問い合わせ先 六ツ美中部小学校 43-2260 教頭 吉川久美子)

団体活動のための補償制度

スポーツ／文化活動／ボランティア活動

あらかし

スポーツ安全保険®

小さな掛金で充実補償



熱中症も対象



ネットで簡単手続き



3つの補償が皆様の活動をサポート



傷害保険

傷害による入・通院、手術、
後遺障害、死亡を補償
※熱中症、細菌性・ウイルス性食中毒も対象



賠償責任保険

対人・対物事故により負った
法律上の損害賠償責任を補償



**突然死
葬祭費用保険**

突然死(急性心不全、脳内出血など
による死亡)に際し、親族が負担
した葬祭費用を補償

1 加入区分・掛金・補償額

2 3 P.2、P.3と合わせてご覧ください。

● 団体活動を行う **4名以上** の方々でご加入ください。

団体の年齢、スポーツ活動の有無、スポーツ活動の種類および補償範囲によって加入区分が異なります。

加入対象者	加入区分 加入区分は加入者ごとに ご選択ください。	補償対象となる団体活動（学校管理下を除く） ※加入手続きをいただいた団体の活動に限ります。	スポーツ 活動	文化 活動等	危険度の 高い スポーツ 活動
子ども (中学生以下) ※特別支援学校高等部の生徒を含む	A1	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	○	○	×
	C 64歳以下	スポーツ活動 (指導・審判を含む)	○	○	×
大人 (高校生以上)	B 65歳以上	スポーツ活動 (指導・審判を含む)	○	○	×
	A2 A2区分は65歳以上の方も 加入できます。	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※送迎中の自動車事故については、 賠償責任保険の対象となりません。	×	○	×
全年齢	D	危険度の高いスポーツ活動(指導・審判を含む)	○	○	○
子ども (中学生以下) ※特別支援学校 高等部の生徒を含む	AW	A1区分の補償となる団体活動に加え、 個人活動も対象	○	○	×
大人 (高校生以上)	CW 64歳以下	C区分の補償となる団体活動に加え、 個人活動も対象	○	○	×

■ **スポーツ活動とは、次の活動を言います。**
運動競技および身体運動であって、心身の健全な発達を図るためにされるものをいいます。なお、次の活動もスポーツ活動となります。(危険度の高いスポーツ活動はD区分での加入となります。)
●各種体操、太極拳、ヨガなどのフィットネス ●各種ダンス、バレエ、阿波踊り、よさこい、よさこいソーラン、パントフリング、カラーガードなどのダンス、踊り
●ウォーキング、ハイキング、釣り、キャンプ、サイクリングなどの野外活動 ●運動会、球技大会など

■ **A2区分ではスポーツ活動(指導・審判を含む)中の事故は補償の対象とはなりません。**
ボランティア、地域活動、団体活動の支援であってもその活動にスポーツ活動が含まれる場合や、加入団体でのスポーツ活動中の事故を含めて補償を受けたい場合は、C区分、B区分またはD区分でご加入ください。

⚠ **全ての加入区分におけるご注意**
■この保険は同一団体で1口しか加入できません。 ■複数の団体に所属されている方は、団体ごとにご加入ください。 ■年度途中で加入区分の変更はできません。

傷害保険 入・通院保険金は医療費の実費ではなく、下表のとおり1日当たりの定額保険金が支払われます。(各自治体の助成等で治療費がかからない場合でもお支払いの対象となります。)手術保険金についてはP.5傷害保険「支払われる保険金」(5)をご覧ください。

賠償責任保険 自動車事故によって賠償責任を負った場合は対象外となります。
P.6賠償責任保険「保険金が支払われない主な場合」(2)③をご確認のうえご加入ください。

年間掛金 (1人当たり)	対象 範囲	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
		死亡	後遺障害 (最高)	入院 日額 (1日目から/ 180日限度)	通院 日額 (1日目から/ 30日限度)		
800円	団体活動中とその往復中	3,000万円	4,500万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人1億円)	180万円
1,850円	団体活動中とその往復中	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人1億円)	180万円
1,200円	団体活動中とその往復中	600万円	900万円	1,800円	1,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人1億円)	180万円
800円	団体活動中とその往復中	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人1億円)	180万円
11,000円	団体活動中とその往復中	500万円	750万円	1,800円	1,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は1人1億円)	180万円
1,450円	団体活動中とその往復中	3,100万円	4,650万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億500万円 (ただし、対人賠償は1人1億500万円)	180万円
	上記以外	100万円	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円	対象外
4,850円	団体活動中とその往復中	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億500万円 (ただし、対人賠償は1人1億500万円)	180万円
	上記以外	100万円	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円	対象外
5,000円	団体活動中とその往復中	700万円	1,050万円	2,800円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億500万円 (ただし、対人賠償は1人1億500万円)	180万円
	上記以外	100万円	150万円	1,000円	500円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円	対象外

■ **危険度の高いスポーツ活動とは、次の活動を言います。**
●山岳登山(注1) ●アメリカンフットボール ●ボブスレー、リュージュ、スケルトン ●スカイダイビング
●航空機(グライダーおよび飛行船を除く。)の操縦 ●超軽量動力機(注2)、ハンングライダー(注3)、ジャイロプレーンの搭乗
●その他これらに類するスポーツ活動

(注1) 冬山登山、岩登り、沢登り、フリークライミング(スポーツクライミングを除く。)など特殊な技術と経験を要するもの。(具体的には、ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマーなどの登山用具を使用するもの)
(注2) モーターハンングライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等を用い、パラプレーン等のパラシュート型超軽量動力機を除きます。
(注3) パラグライダーの搭乗は、C区分またはB区分となります。

■ 加入手続きに不備があると、保険金が支払われないことがあります。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

2 加入対象・補償範囲・補償期間など

加入対象となる団体

スポーツ安全保険には
スポーツ活動、文化活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、地域活動などを行う
4名以上のアマチュアの団体・グループ(以下「団体」と表記)がご加入になれます。



○ **ご加入いただける団体の例:** スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、会員制スポーツクラブ、企業・大学・地域のクラブ活動、各種同好会、各種教室・講座、老人クラブ、ボランティア団体、学童クラブ、放課後子ども教室、町内会、PTAなど。

✕ **家族だけでの活動、プロスポーツ、営利活動を行う団体は加入できません。**
(会員制スポーツクラブ等の場合、その会員・参加者は加入できます。)

補償対象となる事故の範囲

■ 加入手続きを行った団体の活動に関する、**日本国内**での次の事故が補償の対象となります。

○ **団体での活動中** : **団体の管理下**における**団体活動中**(注1)の事故

往復中 : 団体が指定する集合・解散場所と被保険者の自宅(注1)との通常の経路往復中の事故

※個人活動中の事故も補償するワイドコースの加入区分もあります。

(注1)「団体の管理下における団体活動中」、「自宅」の定義はP.6 **各種解説②③**をご覧ください。

✕ **学校および保育所の管理下の児童、生徒等の活動は対象外** **学校管理下か否かは、学校長の判断によります。**

学校教育法に基づく**幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校**および児童福祉法に基づく**保育所**(以下「学校」と表記)が組織する団体(学校部活動等)における児童、生徒、学生または幼児の事故の場合、保険金請求時に学校管理下でないことの学校長の証明書が必要となります。

■ **次にあげるものは「団体の管理下における団体活動」とはならず対象外**

- 加入団体での活動と同一の競技種目・活動内容であっても、P.6 **各種解説②**の要件を満たさない場合
(例1) ソフトボールの団体で加入しているメンバーの数名が、個人的に任意で他のチームの練習に参加した場合
(例2) 自転車や陸上競技、スキー、剣道などの団体に加入しているメンバーが、単独で練習に出かけた場合

補償期間

掛金の支払日が令和7年3月31日以前の場合
令和7年4月1日午前0時から

掛金の支払日が令和7年4月1日以降の場合
掛金の支払日の翌日午前0時から

**令和8年3月31日
午後12時まで**

※4月1日以降の追加加入手続きで、大規模団体加入方式または翌月一括追加方式の要件を満たす場合、団体への入会手続き完了時から補償開始となります。

その他

加入人数 > 令和7年度の初回加入時には**4名以上**のご加入が必要です。
(追加加入の際には、1名からでもお手続きができます。)

**中途加入
中途脱退** > 途中で団体会員が増えた場合には、追加加入する団体会員のみを入力のうえ、お手続きください。
中途加入をする場合でも年間掛金が適用されます。また、中途脱退する場合は、掛金の返戻はありません。
(加入後の加入者の入替えはできません。)

証拠書類 > この保険契約の保険証券は保険契約者である(公財)スポーツ安全協会に対して発行されており、各団体・被保険者に対して保険証券は発行されません。**必要に応じてPCでスポあんネットにログインのうえ、加入手続履歴にて印刷可能な団体会員名簿および領収書を印刷してください。これらが加入者証の代わりとなります。**

団体情報の変更 > 加入手続後に団体情報(団体名、代表者、事務担当者情報)の変更があった場合には変更手続きが必要です。
スポあんネットにログイン後、「各種変更」よりお手続きください。

3 支払われる保険金・保険金が支払われない主な場合

対象となる事故

傷害保険

被保険者が日本国内において**団体での活動中**および**往復中に、急激で偶然な外来**の事故により被った傷害(熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒を含む。)による死亡、後遺障害、入院、手術、通院が補償されます。

※AW・BW・CW区分にご加入の場合は、上記に加え、「団体での活動中およびその往復中」以外の事故も対象となります。ただし、熱中症、細菌性・ウイルス性食中毒を除きます。



● 団体活動中のケガ ● 団体活動への往復中、車にはねられてケガをした場合

賠償責任保険

被保険者が日本国内で行う**団体での活動中**および**往復中に、またはそれらを行うために被保険者が所有・使用・管理する動産に起因して、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことに伴って、法律上の損害賠償責任を負った場合に対象となります。**

※AW・BW・CW 区分にご加入の場合には、上記に加えて、「団体での活動中およびその往復中」以外に発生した賠償事故も対象となります。

- (例1) 野球で打ったボールが道路走行中の他人の車に損害を与え、プレイヤーが損害賠償責任を負う場合
- (例2) 子ども会の行事で海水浴をしている間に、子どもがおぼれて亡くなり、指導者が管理上の賠償責任を負った場合
- (例3) 団体活動への往復中、自転車でもって通行人とぶつかりケガをさせた場合
- (例4) 団体活動中に、一時的に借用した体育施設の窓ガラスを割って割ってしまった場合



突然死葬祭費用保険

被保険者が日本国内において**団体での活動中**および**往復中に突然死**(※)した場合で、**被保険者の親族が葬祭費用を負担したとき**に対象となります。

※突然死とは、急性心不全等の心血管疾患や肺血栓塞栓症等の呼吸器疾患、脳内出血等の脳血管疾患および大動脈解離等を死因とし、下記のいずれかに該当する死亡をいいます。

- ① 団体での活動中および往復中の死亡
- ② 団体での活動中および往復中に顕著な体調変化が確認(※1)され、そのときから24時間以内の死亡(※2)。ただし、その顕著な体調変化に関係がある死亡に限り、(※1)被保険者以外の第三者により確認されたものに限ります。(※2)顕著な体調変化の時から24時間経過時点で延命または集中治療を行っていた場合での180日以内の死亡を含みます。

○ 支払われる保険金

- (1) 事故の日からその日を含めて180日以内の死亡、後遺障害、入院、手術、通院が保険金支払いの対象となります。**ただし、通院保険金の支払日数は、1事故について30日が限度となります。**
- (2) 入院・通院保険金のお支払いは原則として医師の治療が必要となります。柔道整復師の施術については、脱臼、骨折、打撲、捻挫の場合は、「医師」の治療とみなされます。
- (3) 死亡された場合、死亡保険金額の全額が支払われます。ただし、既に支払われた後遺障害保険金がある場合は、死亡保険金額から既に支払われた金額を控除した残額が支払われます。
- (4) 後遺障害保険金は、以下の金額が支払われます。
 - 約款で定める第1級に該当する後遺障害は後遺障害保険金最高額
 - 約款で定める第2級～第14級に該当する後遺障害は、死亡保険金額の4%～89%
 なお、保険期間を通じ約款記載の保険金額が支払限度となります。
- (5) 治療を目的として、**公的医療保険制度に基づく医療診療報酬点数表により手術料の算定対象として列挙されている手術または先進医療に該当する所定の手術を受けられた場合に、**保険金が支払われます。

【お支払額】	入院中の手術:入院保険金日額の10倍
	入院中以外の手術:入院保険金日額の5倍

ただし、1事故につき事故の日を含めて180日以内の手術1回に限られます。1事故に基づくケガに対して入院中と入院中以外の両方の手術を受けた場合には、入院保険金日額の10倍の額のみが支払われます。※傷の処置や抜歯等お支払いの対象外の手術があります。※支払対象となる「先進医療」とは、公的医療保険制度に定められる評価療養のうち、先進医療ごとに厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるものに限ります。(詳細については厚生労働省のホームページをご参照ください。)なお、治療を受けた日現在、公的医療保険制度の給付対象になっている療養は先進医療とはみなされません。(保険期間中に対象となる先進医療は変動する可能性があります。)

- (6) 通院しない場合においても、**約款所定の部位に傷害を被った場合で、その部位を固定するために医師の指示によりギブスなどを常時装着した場合、**その日数に対し、通院保険金が支払われます。
- (7) 入院、通院とも医療費の実費ではなく、**1日当たりの定額保険金が支払われます。**
- (8) 同一治療日における入院保険金と通院保険金は、重複して支払われません。
- (9) 入院・通院保険金が支払われる期間中、別の事故により新たにケガをされても、入院・通院保険金は重複して支払われません。
- (10) これらの保険金は、健康保険や他の保険からの給付、損害賠償金などと関係なく支払われます。

- (1) 被保険者が負担する次の賠償金または費用に対して保険金が支払われます。
 - ① 被害者に対して支払責任を負う損害賠償金
 - ※賠償責任の承認または賠償金額の決定前に東京海上日動の同意が必要です。
 - ② 東京海上日動の書面による同意を得て支出した弁護士費用等の争訟費用
 - ③ 他人から損害賠償を受ける権利の保全・行使、またはすでに発生した事故に係る損害の発生・拡大の防止のために、東京海上日動の書面による同意を得て支出した必要または有益な費用
 - ④ 他人から損害賠償を受ける権利の保全・行使、またはすでに発生した事故に係る損害の発生・拡大の防止のために必要な手段を講じた後に賠償責任がないことが判明した場合において、応急手当、護送等緊急措置に要した費用または東京海上日動の書面による同意を得て支出したその他の費用
 - ⑤ 東京海上日動の求めに応じて協力するために支出した費用
 上記①の損害賠償金については、その額に対して支払限度額を限度に保険金が支払われます。上記②～⑤の費用については、原則としてその全額が保険金のお支払対象となります。ただし、②の争訟費用について、損害賠償金の額が支払限度額を超える場合は、「支払限度額÷損害賠償金」の割合によって削減して保険金が支払われます。
- (2) 損害賠償金は、被害者、他の者(たとえば施設の管理者)の責任割合を勘案して決定されます。賠償事故は、加害者の一方的な過失によるものだけでなく、被害者自身にも過失のあるものや不可抗力によるものが多いため、**示談等については、事前に東京海上日動と十分ご相談ください。**

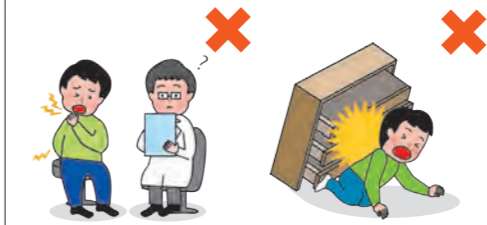
なお、この保険には、保険会社が被害者の方との示談交渉を行う「**示談代行サービス**」は**ありません**。そのため、この保険が適用されると考えられる事故が発生した場合には、東京海上日動からの助言に基づき、被保険者ご自身に被害者の方との示談交渉を進めていただくことになります。
- (3) この保険契約と重複する保険契約や共済契約が他にある場合には、次のとおりとなります。他の保険契約等で保険金や共済金が支払われていない場合は、他の保険契約等とは関係なく、この保険契約のご契約内容に基づいて保険金が支払われます。他の保険契約等で保険金や共済金が支払われている場合は、既に他の保険契約等で支払われた保険金や共済金を差し引いた残額に対し、この保険契約のご契約内容に基づいて保険金が支払われます。

- (1) 法律上の賠償責任が発生しない損害
 - (例) サッカーで蹴ったボールが相手に当たり、ケガをさせた場合や、かけているメガネを破損させた場合
 - ※**スポーツそのものが多少の危険を伴っているだけに、たとえルールを守ってプレーをしても、不可避的に起こってしまう事故もあります。このような事故については、多くの場合、法律上の賠償責任はないものと考えられます。なお、スポーツ以外の活動についても同様です。**
 - (例) 体育施設そのものの構造上の欠陥や管理の不備が原因で、構成員などがケガをした場合
 - ※この場合、施設の管理・運営者に賠償責任が発生し、団体員個人に賠償責任は発生しないものと考えられます。
- (2) 次のような事由に起因する損害
 - ① 被保険者の故意
 - ② 被保険者または被保険者の指図による暴行・殴打
 - ③ **自動車**(自動二輪車、原動機付自転車を含む。)、**航空機**(グライダー、飛行船およびモーター・ハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機、パラプレーン等の超軽量動力機を含む。)、船舶(人力または風力を原動力とするものを除く。)、の所有、使用または管理
 - (例) 集合場所へ行く途中、自動車でもって事故を起こして賠償責任を負った場合は支払われません。ただし、自身のケガは、傷害保険の対象となります。
 - ④ 狩猟
 - ⑤ 地震、噴火、洪水、津波または高潮、戦争、変乱、暴動、そうじょう、労働争議など
 - ⑥ サイバー攻撃
- (3) 被保険者と同居する親族に対する賠償責任

✕ 保険金が支払われない主な場合

- (1) 次のような事由により生じた傷害
 - ① 被保険者や保険金受取人の故意または重大な過失
 - ② 被保険者の自殺行為、犯罪行為、闘争行為、無資格運転、酒気帯び運転
 - ③ 被保険者の脳疾患、疾病(心臓疾患を含む。)、心神喪失
 - ④ 被保険者の妊娠、出産、早産または流産。外科的手術その他の医療処置(保険金が支払われるケガを治療する場合を除きます。)
 - ⑤ 地震、噴火、津波、戦争その他の変乱*、放射能汚染など
 ※テロ行為によるケガは対象となります。
- (2) むちうち症、腰痛などで、医学的他覚所見のないもの
- (3) 学校、保育所の管理下の活動中に生じた児童、生徒、学生または幼児の傷害(ただし、大学、短大、専修学校、各種学校の学生、生徒が行うクラブ活動中に生じた傷害に対しては支払われます。)
- (4) ご加入の加入区分で補償ができない活動を実施している間に生じた傷害
- (5) AW・BW・CW区分の「団体での活動中および往復中」以外における熱中症、細菌性・ウイルス性食中毒およびBW・CW区分における就業中に生じた傷害
- (6) 次のものは傷害には含まれず、保険金が支払われません。
 - ① 急性心不全、脳内出血などの突然死(突然死葬祭費

- 用保険の対象となります。)
- ② **野球肩、野球肘、テニス肘、疲労骨折、関節ねずみ、タナ障害、オスグット病、椎間板ヘルニア、靴ずれ、その他急激・偶然・外来の要件を満たさないスポーツ特有の障害**
- ③ **成長痛、加齢に伴うもの(変形性膝関節症、変形性腰椎症、腰椎分離症など) など**
- (7) 他の身体の障害または疾病の影響
 - ケガを被ったとき既に存在していたケガや病気の影響により、ケガの程度が加重された場合は、お支払いする保険金が削減されることがあります。
- (8) 日本国外での事故および補償期間外に発生した事故 など



● むちうち症、腰痛などで、医学的他覚所見のないもの ● 地震・噴火またはこれらによる津波によるケガ

- (4) 被保険者の所有、使用もしくは管理する財物の損壊についてその財物につき正当な権利を有する者に対して負担する賠償責任(ただし、練習・合宿などで一時的に使用または管理する宿泊設備・体育施設等を壊した場合は支払われます。)
- (例) テニスラケット、バレーボールネットなどを借りて過ぎて壊した場合には支払われませんが、一時的に使用している体育館の窓ガラスを割って割ってしまった場合は支払われます。
- (5) 被保険者の占有を離れた飲食物または被保険者の占有を離れた施設外にあるその他の財物に起因する損害
- (例) ハイキングに行くために作ったおにぎりが原因で、第三者が食中毒となった場合には支払われません。
- (6) 学校、保育所の管理下の児童、生徒、学生または幼児の活動に起因する損害(ただし、大学、短大、専修学校、各種学校の学生、生徒が行うクラブ活動に起因する損害には支払われます。)
- (7) ご加入の加入区分で補償ができない活動に起因する損害
- (8) 被保険者が、団体活動を行い、または指導することを職務とする場合、その職務遂行に起因する損害(ただし、被保険者が他人に使用されて団体活動を行い、または指導している場合を除く。)
- (9) 被保険者が公務員(ただし、スポーツ推進委員、部活動指導員など、非常勤で団体活動を指導する者を除く。)として職務上遂行した業務に起因する損害
- (10) 日本国外で行う活動に起因する事故(AW・BW・CW区分については一部対象となります。)
- (11) BW・CW区分の「団体での活動中および往復中」以外における就業中に起因する事故
- (12) 補償期間外に発生した事故 など

- (1) 次のような事由により生じた突然死
 - ① 被保険者や保険金受取人の故意または重大な過失
 - ② 被保険者の自殺行為、犯罪行為、闘争行為、無資格運転、酒気帯び運転
 - ③ 被保険者の心神喪失
 - ④ 被保険者の妊娠、出産、早産または流産。外科的手術その他の医療処置
 - ⑤ 地震、噴火、津波、戦争その他の変乱、放射能汚染など
- (2) 学校、保育所の管理下の活動中に生じた児童、生徒、学生または幼児の突然死(ただし、大学、短大、専修学校、各種学校の学生、生徒が行うクラブ活動中に生じた突然死に対しては支払われます。)

- (3) AW・BW・CW区分の「団体での活動中および往復中」以外における突然死
- (4) 日本国外での事故および補償期間外に発生した事故
- (5) **傷害保険の死亡保険金の支払い対象となる死亡**
- (6) **生前購入された墓地、墓石、仏壇等、被保険者が死亡する前に負担された費用** など

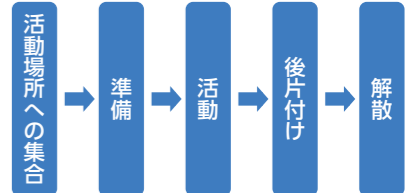
1 被保険者とは

当保険において補償を受けることができる方をいいます。当保険では加入手続きを行った際にご提出いただいた団体員名簿に記載のある方が被保険者となります。ただし、賠償責任保険に限り、加入者が子どもなどで責任能力がない場合は、その親権者などの法定監督義務者を被保険者としてします。

2 団体の管理下における団体活動とは

次の2つの条件をいずれも満たす活動をいいます。

- **日時、場所、内容等、団体が定めた活動計画に基づき、指導監督者等の指示に従った活動**
 - **加入時にご提出いただいた団体員名簿に記載された者が集って行う活動**
- 具体的には集合から解散までの間となります。



※合宿などの場合は、宿泊、旅行の全行程が対象となります。

なお、団体の指示に基づいた次の活動については「団体の管理下における団体活動」として扱います。

- 被保険者が団体の代表として、団体代表者の承認を得て、国、地方公共団体、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本レクリエーション協会等(加盟団体およびその傘下団体を含む。)が市区町村以上の規模で開催する各種研修会、講習会または競技会に参加して行う活動
- (注) 競技会における事故は補償されますが、**別途、選抜チーム・トレセン等の管理下で実施される活動(練習・合宿等)は補償されません**。その際には選抜チーム・トレセンの団体としてご加入ください。
- 大会説明会、抽選会への出席等、団体の運営上必要な付随活動
- 昇級、昇段試験または資格取得の各種審査会等に参加して行う活動 など

3 自宅とは

被保険者の居住の用に供する建物(敷地を含む。)をいいます。ただし、アパート、マンション等の共同住宅においては、ドアより内側の専用居住区画(専用使用権のある共用部分を含む。)をいい、学生寮、寄宿舎等の共同宿舎においては建物(敷地を含まない。)をいいます。例えば、集合場所に向かう際に自宅内で発生した事故については、往復中の事故には含まれず補償の対象とはなりません。

六ツ美中部小学校「部活サポーター」登録用紙

登録日 令和 年 月 日

ふりがな				性 別
氏 名				
生年月日	年 月 日（登録年度末時点で満 歳）			
住 所	(〒 -)			町 名
自宅電話	() -	携帯電話	() -	
希望する 部活動 ○をうつ	() ソフトボール () バレーボール () 合唱	他に可能な スポーツや 文化活動	あれば	

以下のことを同意して活動します。※同意する場合は□にレ点を入れてください

- 児童の健やかな成長を願って、学校支援活動体制「文化・スポーツ部会」一員として活動します
- 部活動に係る活動方針の趣旨を十分に理解します
- 部活動顧問との打合せ内容を尊重します
- 児童の安全を第一に考えます